

第32回中国ミニバスケットボール交歓大会(広島大会)に出場して

ミニバス岩国スポーツ少年団 指導者 大鶴 孝

私が指導者として始めた一年前の新チーム発足後、初の大会である新人戦で先日の県大会で優勝し全国大会に出場が決まった麻里布ミニバスさんと当たり、レベル差を痛感しての敗戦。そのあとの試合にも敗れてこれからどうなっていくのかと不安だらけのスタートでした。

練習時間を増やして個々の能力を上げていく事から始めようと、そしてキャプテンはみんなをカバーし自分がリードしていかないと勝てないことを悟り、持ち前の強い心でチームを引っ張っていく決意をした。

それからは日々力をつけ優勝トロフィーや盾を手にする日が増えてきました。

一年で最も大切な秋の地区予選を勝ち抜き、決勝大会に進出できた。いずれにおいても、これまでの試合で今まで勝ったことのないチームに勝ち抜いての進出。嬉しさも倍増だった。準決勝相手はかなりの強豪チームだったがキャプテンが大爆発して、そのままリードを守り勝利することができた。

決勝ではまたも麻里布さんに負けはしたものの準優勝。ここまで来れたことに心の中ではよく頑張ったなと褒めてあげたい気持ちで一杯だった。しかし、まだ次がある。中国大会では各県の2位、3位チームが出場権を握る。今回に限っては優勝したチームが3月に開催される全国大会の出場資格を得ることができるためこのチームも必死だ。

そして、大会当日、驚くことに子供たちは誰一人として緊張するものが居ない、見当たらない。これがこの子供たちの成長だと喜びを感じた。そして、気持ちが途切れることなく試合に出てる五人全員が ゴールに向かって攻め続け、初日全て勝利を勝ち取った。

そして、次の日の決勝トーナメント。初戦、これもこれまでの錬成会でも勝ったことのない広島一位の常連強豪チームに接戦ではあったが危なげなく快勝。さすがに緊張は隠せなかったが、振り返れば、中国大会出場が決まってからこの短期間でみんながすごく成長したと感じる。そしてなにより、周りの沢山の他チームの子供たち、関係者のみなさん、指導者の方々、保護者の方々の協力を頂いて暮れの忙しいとき、年明けてゆっくり出来るときに私達のために惜しみ無く協力頂けたことを本当に嬉しく思い、感謝で一杯でした。これこそ『友情、ほほえみ』の原点と感じました。

決勝の結果は惜しくも敗れたものの準優勝を勝ち取った。そして何より大差をあけられ簡単にはひっくり返せない状況の中でベンチの「諦めずに最後までがんばれー！」という言葉に子供たちも「いつもはこんなものじゃない、もっとできるんだ」と言わんばかりに最後まで一生懸命なプレーをしその一つ一つのプレーに表れてました。諦めない一生懸命さのプレーは観戦いただいている皆さんにも伝わっていると思っています。りっぱでした。涙が出そうでした、そのひた向きさに！本当に子供たちを誉めてあげたい。

しかし、その反面、県大会、中国大会で二度に渡り優勝逃した悔しさもある。中国大会での決勝の敗戦はベンチの指導者経験不足も否めずここは反省するも、彼女たちもその悔しさをバネに中学、高校で取り返すために自分達「己」を磨いて行ってほしい。彼女らに終わりはない、いつも前進あるのみ。そんなプレーヤーに育っていった欲しいものです。



第32回中国ミニバスケットボール交歓大会(広島大会)に出場して

ミニバス岩国スポーツ少年団 #4 植松 日向子

私たちは、新チーム結成時、試合経験者が少なく、弱小チームでした。

新人戦では2敗を喫してしまいましたが、それでも仲間とともに全国大会出場という大きな夢を持ち、その夢を実現するため一生懸命練習してきました。

秋の東部地区大会や山口県決勝大会では、みんなの絶対勝ちたいという気持ちがプレーに表れ、今までに一度も勝ったことのないチームに勝つことができ、中国大会出場の切符を手に入れました。中国大会では、一日目、大庭ブルーウィングス(島根)と高屋ミニバス(広島)と対戦し、二勝して二日目の準決勝に進みました。

準決勝戦は、広島1位の古田ミニバスと対戦し、今まで練習してきたことを発揮することができ、勝つことができました。

決勝戦は、同じ山口県の牟礼中央ミニバスと対戦でした。山口県決勝大会では勝利したチームでしたが、相手チームの勢いに圧倒され、自分たちのバスケができないまま試合終了のブザーがなってしまいました。

決勝戦は負けてしまいましたが、みんなで声をかけ合い最後まであきらめることなく一生懸命戦い、中国大会準優勝という結果を残すことができました。

全国大会出場の夢は叶わなかったけれど、このくやしさを忘れずにこれからの試合も仲間と力を合わせて、精一杯がんばります。

私たちのために、時にきびしく、そして優しく教えてくださった指導者、それにいつも支えてくれたお父さん、お母さん、また、中国大会開催にあたりお手伝いをしてくださったミニバス関係者のみなさん、本当にありがとうございました。

私たちは広島グリーンアリーナという素晴らしい舞台でプレーできたことをほこりに思います。最後に、ミニバス岩国にたくさんの応援、本当にありがとうございました。